

『施設横断水平展開事例報告：

老健施設の入所者に適切な高さのテーブルで食事してもらおう』

豊中愛和会・介護老人保健施設きんもくせい 食事環境改善チーム

愛仁会・介護老人保健施設ケーアイ

食事環境改善チーム

● テーマ選定の理由

愛仁会グループの老人保健施設間での水平展開事例を発表する。

愛仁会本部TQM推進室では、積極的に施設間水平展開を推奨している。しかし、いざ実施してみると、建物構造・設備の違いや施設運用の違いなど、いろいろな問題や課題に直面する。

今回、介護施設での生活の中で重要な食事場面で、適切な高さのテーブルを使用することによって、長時間座位を保つことでの疲労の軽減や、ずり落ち防止などに取り組んだ老健きんもくせいでの業務改善を老健ケーアイに水平展開した事例を発表し、水平展開による改善の効果性と課題を報告する。

● 水平展開ツール



愛仁会本部TQM推進室では、水平展開推奨ツールとして、業務改善活動事例集・発表会CDを上期・下期の活動時期に合わせて年間2回配付している。

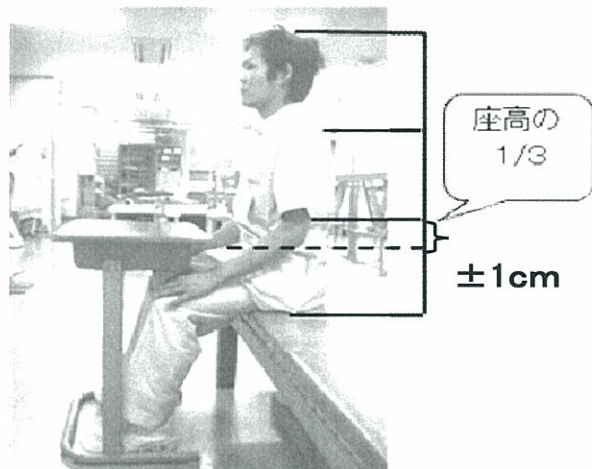
《期待効果》

- ・ 活動テーマのヒントを得る。
- ・ データの取り方、資料のまとめ方の参考になる。
- ・ 同じような課題を抱えていることを共有化できる。

食事の際の適切なテーブルの高さは、

『椅子の高さ+座高の1/3』

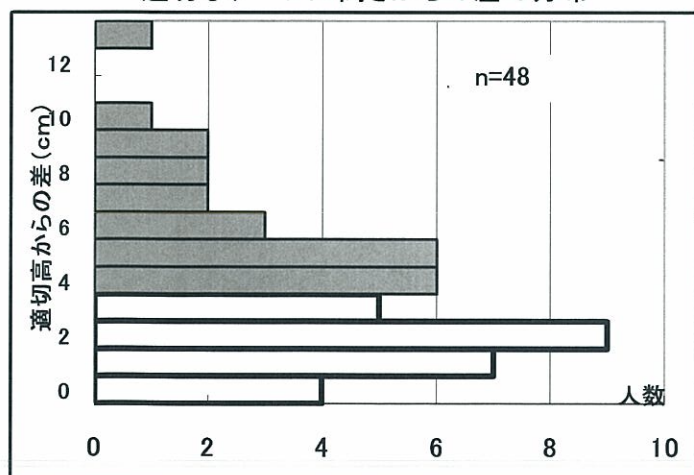
【出典】『月刊デイVol.62「デイサービスに活かす福祉用具」』



● 現状調査 老健きんもくせい

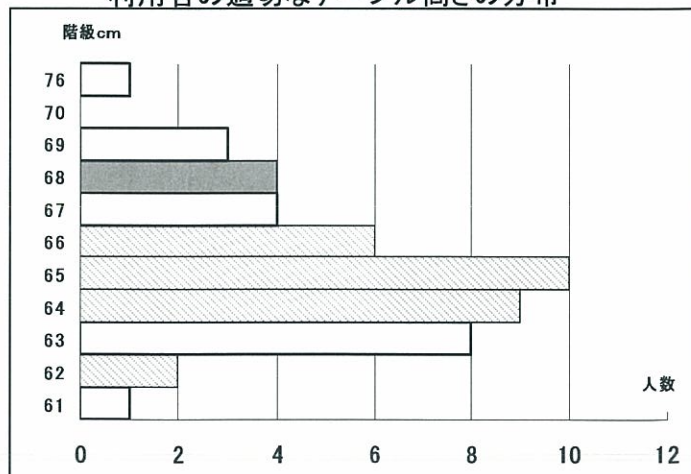
- 1) 適切なテーブル高さから大きく乖離すると(n=5)・・・
座位のでん部が前方にズレ、腰痛・肩甲骨周囲に痛み。
- 2) 適切なテーブル高さから何センチ以上の差で違和感を感じるか(n=48)・・・23名が4cm以上で違和感と回答。
- 3) 入所者が使用している実際のテーブルの高さと適切なテーブルの高さの差は -13cm～+10cmの範囲に分布。
- 4) 利用者の座高を実測し、最適な高さを算出・・・
62・64・65・66・68cmの5階級に設定すればカバー可能。

適切なテーブル高さからの差の分布



(作成: 林 08.07.06)

利用者の適切なテーブル高さの分布



(作成: 木下08.07.12)

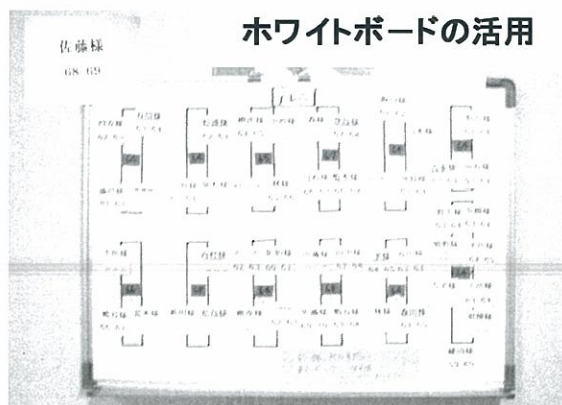
サークルチーム名		きんもくせいーケーアイ 食事環境改善 Special チーム			
リーダー名(職種)	佐藤 公則 (理学療法士)	所属部門	老健	月あたり会合回数	2.5回
リーダー経験年数	2年			平均会合時間	45分
メンバー構成	計 8名	活動内容	推進事例 非QC	平均会合出席率	60%
	男 3名			テーマ暦	1件目
	女 5名				

● ゴール目標の設定

2008年9月末までに、きんもくせい入所者が、適切な高さ±1cmのテーブルで食事できるようにする。

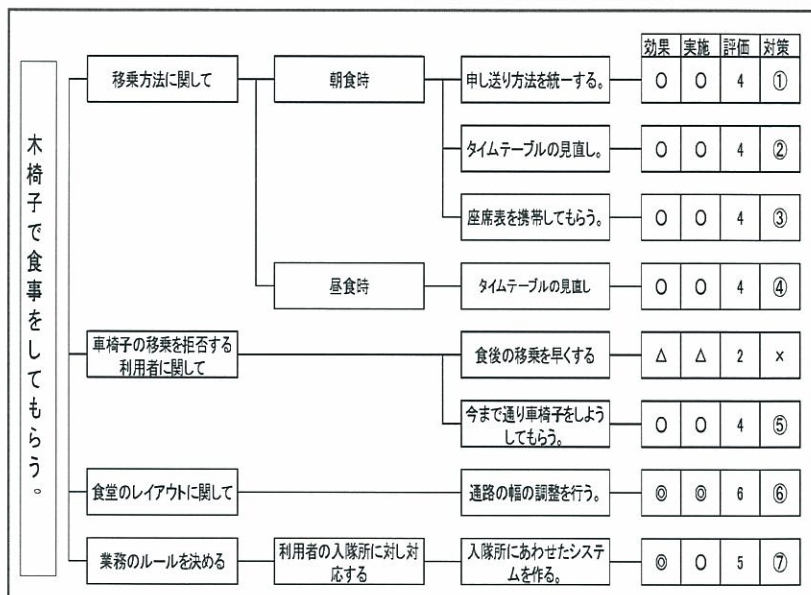
● 改善の過程で考慮すべき点

- 1) 車椅子を使用して食事することが当たり前になっている。QOLの観点からそれでいいのか？
- 2) 老人性認知症や体力の関係で常に見守りの必要な利用者がいる。
- 3) 介護老人保健施設の特徴として、月に7～9名(50名定員に対して)の入退所者がいる。

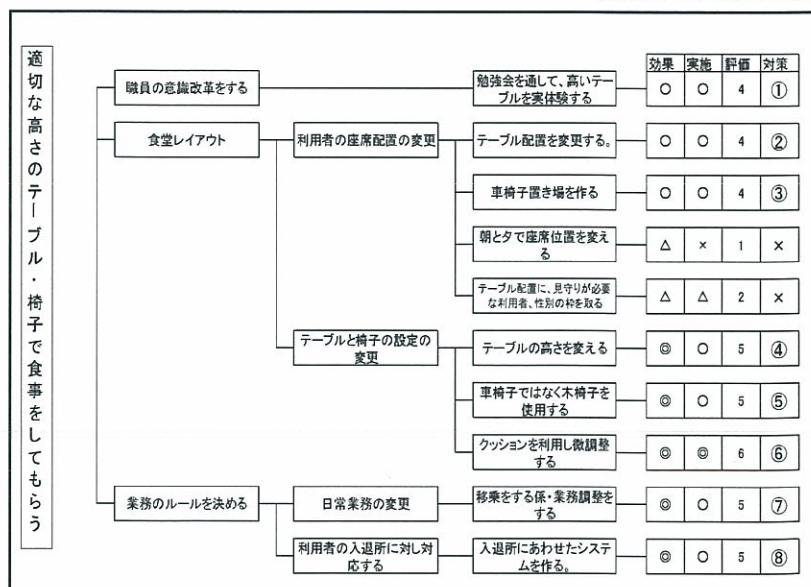


● 対策立案・実施の考え方

- 1) 車椅子での食事から木椅子への食事に変える。
 - ・車椅子が置ける場所をつくる。
 - ・入所者に木椅子で食事することを説明する。
- 2) 体力的に問題がある、認知症への配慮、入退所者による配置換えに対応して食事レイアウトを見直せる仕組みをつくる。
 - ・ホワイトボードの活用。
- 3) 入退所者にある程度対応できるテーブル高さを決める。
 - ・高さの微調整はクッションと足台を使って行う。



(作成: 佐藤 08.08.20)



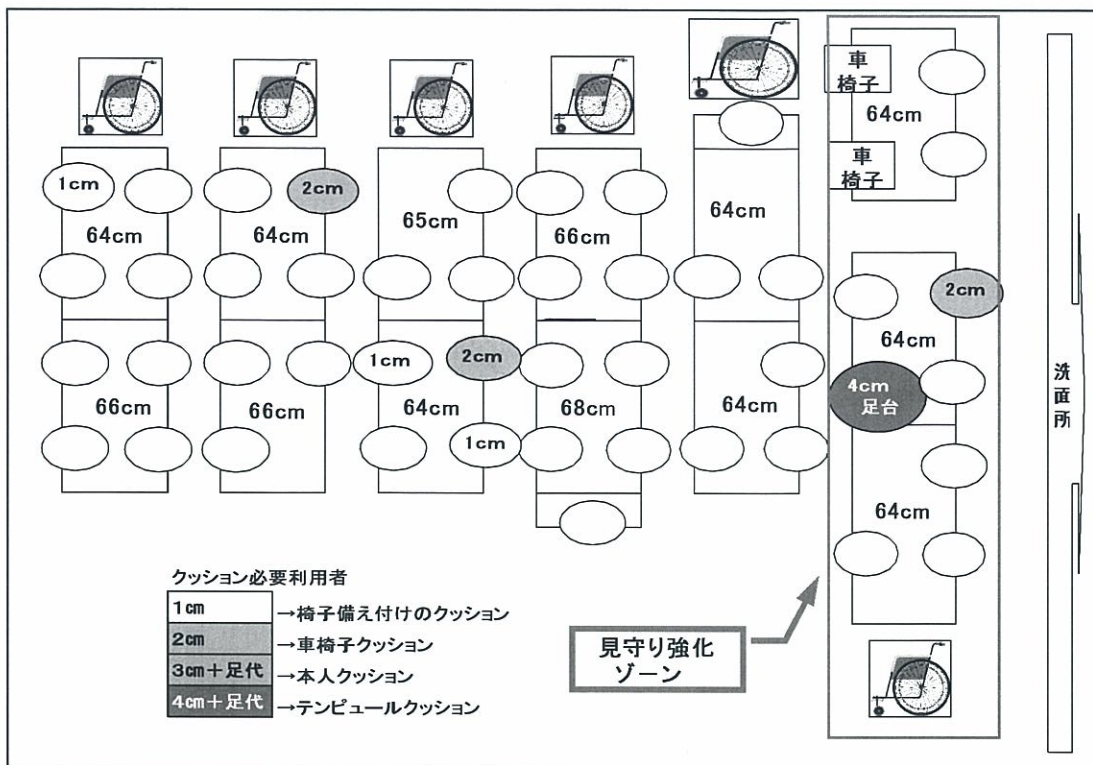
(作成: 佐藤 09.09.05)

● 対策の実施

老健きんもくせい
食堂のレイアウトと
テーブル高の設定

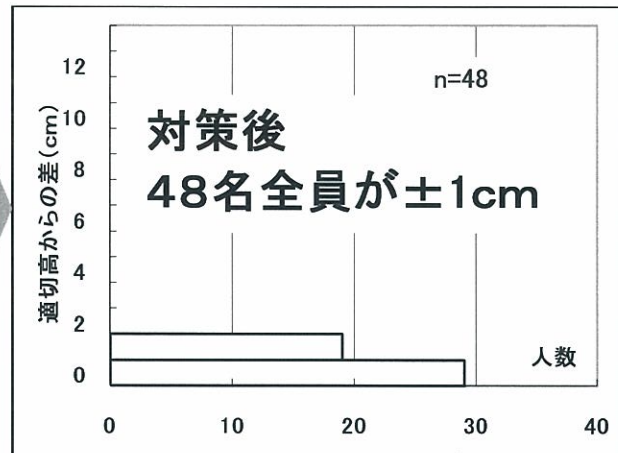
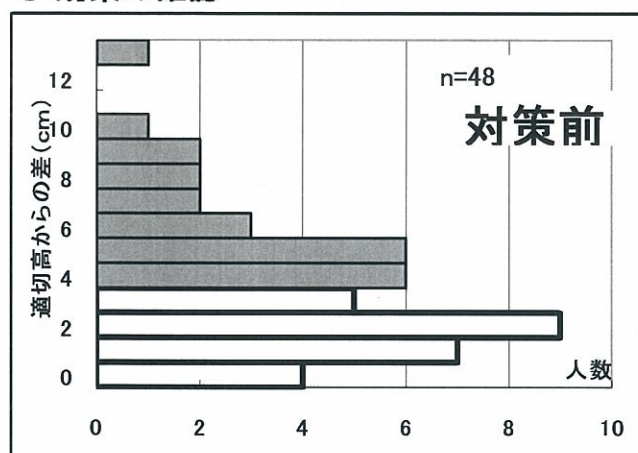


車椅子置き場



(作成: 甲田 09.09.20)

● 効果の確認 適切なテーブル高さからの差の分布 対策前後の分布比較【老健 きんもくせい】

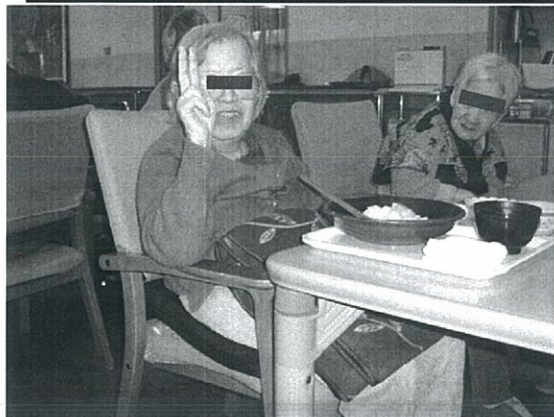


● 有形効果

(作成: 林 08.07.06)

(作成: 中塚 08.09.30)

2008年9月末までに、
きんもくせい入所者が、適切な高さ±1cmのテーブルで食事できるようになった。



● 波及効果

- 1) 食事摂取量の少なかった利用者様
● 7名中3名の食事摂取量が増加。
- 2) 座位姿勢が崩れていた利用者様
● 16名中9名の座位姿勢が改善。
- 3) 車椅子をりようしていた利用者様
● 2名が車椅子移動から
歩行器移動に移行。

● 水平展開の奨励

《老健きんもくせい ➡ 老健ケーアイ》

水平展開推奨ツールの業務改善活動事例集に掲載された、老健『きんもくせい』の改善事例が老健『ケーアイ』で抱えている問題と同じであり、水平展開しようと考えた。対策を短時間に実施し、即効果につなげることが大切。 スピード勝負！

● 優先性の検討とゴール目標の設定

- ・老健きんもくせいで検討した、適切なテーブル高からの差で違和感を感じる4cm未満の食事環境を2週間で(短期間に)つくる。

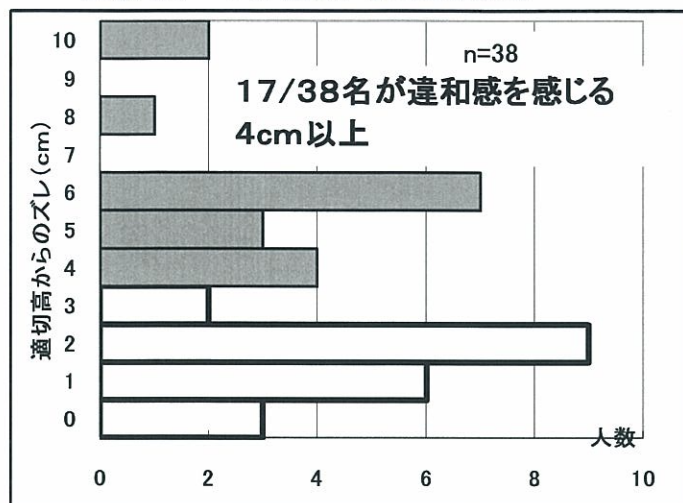
水平展開を行ううえでの課題

老健きんもくせいは、平成15年4月オープン。老健ケーアイ 平成9年10月オープン

- ・開設年次が異なるために、使用している什器・備品が違う。
- ・ケーアイのテーブル脚は固定式で脚長を変えられない。

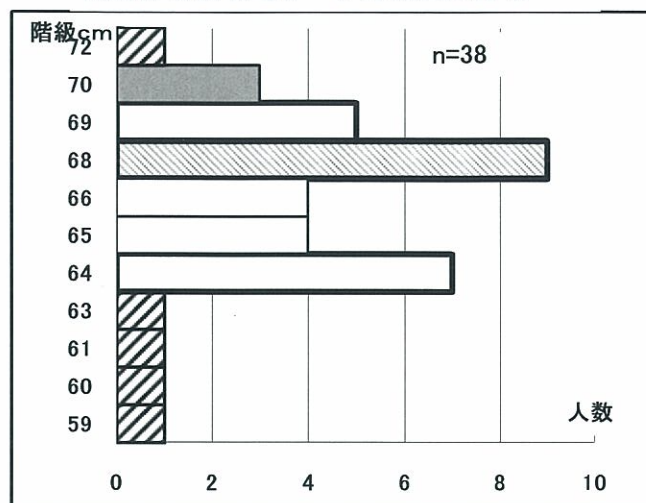
● 現状調査と即効的対策 老健 ケーアイ (3階療養棟入所の38名を対象に実施)

適切なテーブル高さからの差の分布

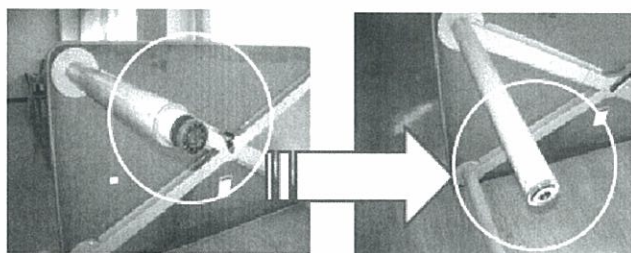


(作成: 中川 08.12.16)

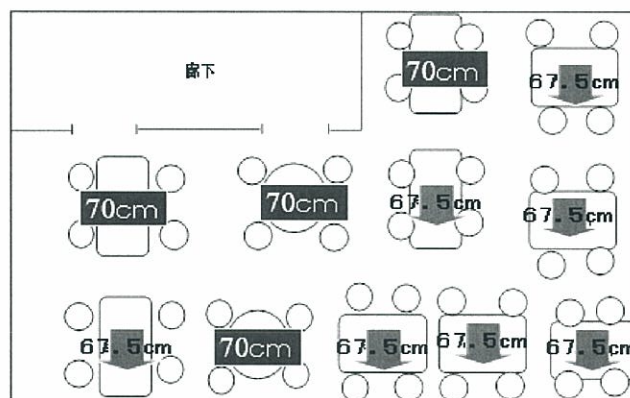
利用者の適切なテーブル高さの分布



(作成: 都 08.12.11)



テーブル高は、従来の70.0cmに脚を加工して新たに67.5cmを設定



(作成: 都 08.12.25)

● 効果の確認

適正なテーブル高さ(違和感を感じない4cm未満)での食事環境を2週間でつくることができた <<33/38名の利用者にとってメリット>>

● 積み残しの課題

適正な高さ63cm以下と72cmの階級の人には別の対策が必要

● 水平展開(対策)の特徴

現状把握	データの取り方はすでに工夫されているので、検討の時間を短縮
目標設定	先行施設を参考に設定
原因の追及	先行施設の原因と比較することで自施設の課題を明確化
対策立案	すぐに実行に移せる
対策実行	効果を得るまでの時間を大幅に短縮
特異的な課題	先行施設と自施設の設備(ハード)や運用システム(ソフト)の相違を考え自施設にうまく適応するようカスタマイズすることが大切。